

「下総玩具」の生みの親 松本さん

100歳作家の個展 応援

土人形などの下総玩具の生みの親で、100歳を迎えてなお制作意欲の旺盛な作家・松本節太郎さん。柏市根戸の個展を、資金面で手助けしようとして、柏市の芸術家らが25～28日まで、柏市末広町の「ザ・クレストホテル」で作品の即売会を開く。個展は9月の開催予定で、売り上げの一部を寄付したいという。

柏の画廊経営 鈴木さん・園辺さん

創作エネルギーに感動 9月開催へ作品即売会

25～28日

今回の「柏芸術作品即売会」を企画しているのは、柏市で画廊を経営する鈴木昇さんと園辺実さん。精力的に創作活動を続ける松本さんのエネルギーに打たれ、何とか個展の実現にこぎつけたいと支援を決めた。

鈴木さんは「松本さんの作品は、特定のモデルに頼らない独創的なものばかりで引き付けられる」という。即売会には柏や我孫子、松戸などの地元作家による木版画や洋画、水墨画など約200点が並ぶ。鈴木さんは「即売会での売れ行き次第だが、10万円程度は寄付したい」という。

不景気を反映し、デパートが主催する催事が少なくなっているといい、「地元の作家が作品を発表する良い機会にもなる」と鈴木さん。松本さんが考案した「下総玩具」とは、下総首人形と呼ばれる土人形が代表格とされる。土を手でひねって形をつくる

「手びねり」が特徴でそれを天日干しする。それに絵の具で顔を描いて竹の串に指す。かつての柏周辺を往来したとされる七福神や十二支などをテーマにした作品が多い。松本さんの個展は9月15日の敬老の日を予定している。主催者は「個展の規模にもよるが、40～50万円はかかる。できるだけ支援したい」としている。問い合わせは「ギヤラリーヌーベル」(☎04・7146・6800)へ。



松本節太郎さん